※令和４年度以降入学生用

学校番号	３２９

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	(学) 保育音楽	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	楽譜が読める・弾ける step20　　自作プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楽譜の読み書きに必要な規則（楽典）を理解して体験的な学習を積み重ねていきましょう。
音楽活動の楽しさを、伝えていく基礎力を獲得しましょう。

2　学習の到達目標

・保育現場で必要な、知識技能を身につけるため、自ら学習し練習する習慣を身に着ける。
　また楽典を学習し、実践に生かす基礎力を身に着ける。
・幼児の発達過程を意識し音楽に関する要素や働きを意識し表現意図をもつ。
・保育現場で必要な、歌唱　身体表現を習得する。将来の進路の礎になる分野を、目標を持ち
　主体的に伸ばしていけるよう継続して取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・楽典の基礎を習得し、与えられた課題に継続性をもって学習している。 ・保育教育に必要な様々な分野に興味を持ち、創意工夫を生かした活動を、主体的協同的に行っている。	・幼児の発達段階を踏まえ、音楽を形作っている要素やそれらの働きを意識して、表現意図を持つ。 ・音楽の良さや美しさを味わって鑑賞し、言葉を含めて評価することができる。	・与えられた課題を仕上げるための計画を意識し、主体的協同的に取り組んでいる。 ・諸活動に、目標をもって、目標達成のための取り組みを継続している。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
全学期	楽典の基礎を理解しよう。	・音名、リズム　音階　調について理解を深め、楽譜をもとにキーボードで演奏する。 ・複数人で、メロディを演奏し簡単な対位法の曲を体験する。 ・カデンツを意識してコードとコード進行のルールを知る。	a:楽譜に基づいて表現につなげるため必要な事項を理解している。 b:音　リズム　構成をもとにそれらの働きを感受しながら実際に活用できる。 c:楽典を学習することにより、主体的　協働的に学習活動に取り組んでいる・	観察 聴取	観察 聴取	観察 聴取 振り返りシート
	表現しよう	・簡単な手遊びや、ダンスを自分たちで習得し、発表する。 ・わらべ歌や様々な歌を曲想に合わせて、ふさわしい発声　表現を工夫する。	a:主体的　協働的に手遊びやダンス　わらべ歌について調べて練習する。 b:ふさわしい表現を工夫し、発表する。 c:活動を楽しみ、主体的協働的に学習活動に取り組んでいる。	観察 聴取	観察 聴取	観察 聴取 レポート
	キーボードで伴奏しよう。	・コードの仕組みを学習し、コードネームで伴奏する。 ・伴奏のバリエーションを工夫する。	a:音程の基礎を理解しコードネームを引くことができる b:簡単な曲を　コードをもとに伴奏することができる。伴奏の創意工夫を試みる。 c:コードの理解と実技練習に主体的に取り組んでいる。目標と進捗状況を記録する。	観察 聴取	観察 聴取	観察 聴取 振り返りシート
	簡単な劇に取り組もう	・オペレッタや、楽器を使った表現に取り組む。 ・自分たちで企画　練習　発表する。 ・ミュージックベルを体験する。	a:主体的　協働的にオペレッタの企画練習に取り組む b:総合的に舞台演出を工夫し、発表する。 c:活動を楽しみ、主体的協働的に学習活動に取り組んでいる。	観察 聴取	観察 聴取	観察 聴取 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度